



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2023年

8月

No.305

地域の子どもから大人まで
地域の色々な人がお互いの
暮らしを支えています



8月の社協だより

今月号の表紙は「ふれあい交流会」です。町内の小学生がメッセージカードを作成し、民生委員児童委員の皆さんにお届けしていただきました。他にも当協議会が行った事業で「在宅介護者のつどい」や「シルバー人材センター」を掲載しています。また、社協情報には8月の相談日やお知らせ等をご紹介します。

もくじ

- P2 ふれあい交流会／地域福祉課
行政区別福祉座談会／在宅福祉課
- P3 在宅介護者のつどい／地域福祉課
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P4 令和4年度事業報告・決算／総務課
- P5 社協情報／ひきこもり相談窓口、もの忘れ相談室 など
- P6 地域サロン／広崎3町内・安永4町内・上陳・田原
地域を支えるふくしの輪／車イスの無料貸し出し

ふれあい交流会

地域福祉課

ふれあいメッセージカード

〔事業の概要〕

町内の子どもたちから、今が
ばっていること、行ってみたい場
所、将来の夢、労いの言葉等ほ
えましいメッセージカードを預か
り、民生委員児童委員の皆さんに
ご協力いただき一人暮らしの65歳
以上の方へ配布させていただきました。
一緒に返信用ハガキを同封
しており、たくさんの方の心温まる返
事をいただいています。次回の社
協だよりで紹介させていただきます。

〔お届けの様子〕

市ノ後地区の、木下たつみ民生
委員さんは普段から一人暮らしの
高齢者に寄り添い訪問されていま
す。今回は、益城中央小学校の児
童が作成したお手紙を持参されま
した。受け取られた方は「中央小
5年生の手紙が届き、ハワイに行
きたいと書いてあったので叶うと
いいなと返事を書きました。も
らってうれしかったです」と笑顔
で答えてくださいました。



小学生に飛行機の塗り絵とメッセージを書いていただきました



西村会長から土山民児協会長へ

行政区別福祉座談会

在宅福祉課

行政区別福祉座談会を開催しています

6月は、北向・寺中・安永3町
内で座談会を開催しました。
6月6日(火)北向座談会では、
地域住民の方の参加もあり、ご近
所付き合いの中での見守り活動等
の意見交換がありました。また、
このように地域の見守りについて
話し合う場がないため定期的に
行なって欲しい等の意見も挙がりま
した。
6月20日(火)寺中座談会では、
自主サロン「寄っていきなっせ」
の取組みや移動販売車が寺中で利
用できるようになった取組みなど
の話を聞くことができました。い
ずれも、住民の声(要望)を住民
が形にした取組みでした。
6月29日(木)安永3町内座談
会では、「訪問は必要ない」等と断
られるケースや一人暮らし高齢者
を地域活動から把握する難しさ等
についての意見が挙がりました。



北向座談会



寺中座談会



安永3町内座談会

在宅介護者のつどい

地域福祉課

介護者同士の交流

6月29日(木)にミナテラスで開催しました。このつどいは在宅で介護をされている方が、日ごろの介護疲れの軽減と介護者同士の情報交流を目的に毎年2回行っています。

今回は、介護講座として薬剤師の堀内貴史様から「介護に必要な薬の知識」として、普段介護して

いる中で必要な薬の知識や薬剤薬局との関わり方についてお話しいただきました。参加者からも積極的に質問が飛び交い、専門職ならではの話を聞くことができました。また、栄養バランスのお話しも含め、栄養補助食品の紹介もさせていただきました。

最後には少しでもゆっくりした時間を過ごしていただきたく、音大卒の山内麻祐子様、林祐様によるフルート&ホルンの演奏をしていただきました。生の演奏が聴けてよかったです、心がすっきりしたとの意見もいただきました。



薬剤師の堀内先生の話



演奏では懐かしの童謡など皆さん口ずさまれていました

高齢者の生きがいづくり

シルバー人材センター

No.38

会員紹介 ～タスキ～

北村幸治さん
所属／草刈作業班



会員登録のきっかけ

退職し、何もしないでいると体力も気力も落ちてしまうかと考えていたこと、母親が元会員で高齢になっても汗水流して楽しく活動をしていた姿を見ていたこともあり、登録しました。

活動をとおして思うこと

会員登録し2か月ですが、先輩の会員さんにアドバイスをいただきながら、日に日に技術向上していることも実感でき、充実しています。また、作業時間に冗談交じりの雑談もあり楽しい時間です。

趣味

姉と一緒に畑で野菜作りをするのが趣味といえは趣味です。作った野菜の一部は近所の方に配ります。大変喜んで受け取られるので作り甲斐があります。

これからやりたいこと

区画整理後、いつの日か元地に家を建て、家族と一緒に住むことが目標です。人のために体を動かすことは好きなので、できるだけ長く活動を続けて目標を達成したいと考えています。



人材センターのリサイクルBOX作成に協力いただきました

令和4年度事業報告・決算

事業報告

令和4年度の当協議会では、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による「新しい生活様式」に努めながら、各関係機関・団体・行政等との連携を密にし、住民に寄り添った支援を継続してまいりました。

地域支え合いセンター事業

仮設住宅閉鎖に向けて残されている被災世帯に対しての再建支援、再建を終えた地域住民も交えたお茶会等とおしたコミュニティづくりを実施してまいりました。

経済環境悪化世帯への対応

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い経済環境が悪化した世帯に対し、生活困窮者自立支援事業・生活福祉資金貸付事業等による具体的支援を行いました。

横断的な支援体制づくりの実現

被災に伴い表面化したひきこもり世帯への相談支援の継続や多様化・複合化した課題に対し、コミュニティソーシャル

ワーカー（CSW）を中心としたアウトリーチを通じた継続的支援に取り組み、行政や関係機関等との連携強化に努めることができました。

地域コミュニティづくり

生活支援コーディネーター（SC）・地域サロンコーディネーター（ASC）を中心に「新しい生活様式」のもと、内容変更や規模を縮小しつつも、主催事業や講座の開催、屋外での地域サロン、回数を分けて関係団体等と会議を行うことにより、地域で活躍できる場の提供や地域見守り活動の把握及び情報の共有化を深めることができました。

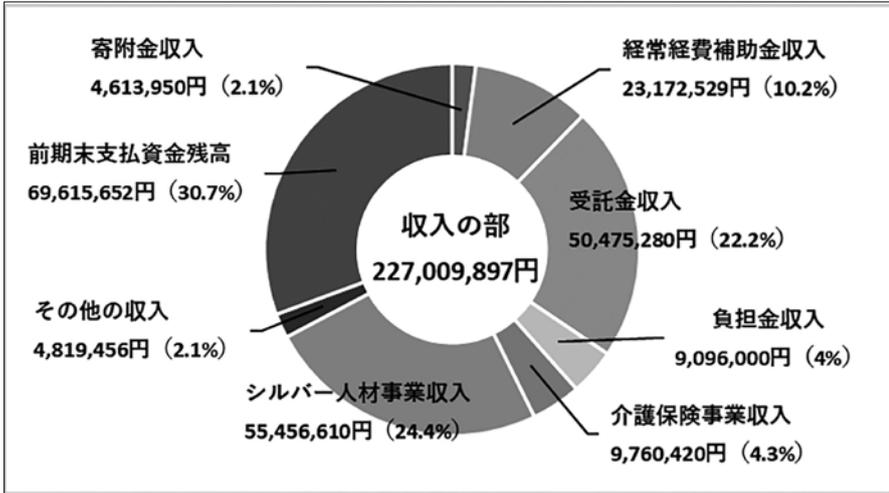
シルバー人材センター事業

会員が長年培ってきた知識・技能・経験を活かして、住民や企業等の依頼に就業を通じて役割を發揮することができました。また、就業以外でも奉仕活動やリサイクル活動、レクリエーションに取組み、これらの活動は会員の地域貢献や会員同士の親睦へとつながりました。

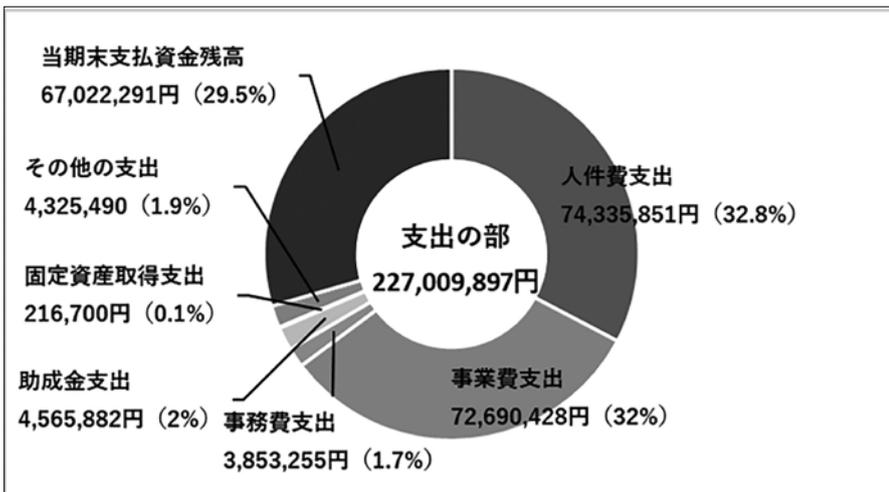
住民の自宅再建先や災害公営住宅等での落ち着いた生活が戻りつつあることから、仮設住宅も令和4年度末で閉鎖となり、被災者支援を目的とした地域支え合いセンター業務も令和4年度をもって終了となりました。これまで多くの方のご理解・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

決算報告

収入の部



支出の部



社協情報

当協議会でやっているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

◇ひきこもり相談窓口

「ひきこもり」に悩んでいる方へ

小さな一歩を踏み出すために

ひきこもりって？・・・ひきこもりは様々な要因によって対人交流や社会的な参加の場が、長期にわたり少なくなっている状態のことです。誰にでも起こりえますが、長く続くとひきこもり状態から抜け出しにくくなる場合があります。

一人で悩まず一緒に考えていきませんか。あなたのタイミングで気軽に相談してください。ご家族や知り合いの方からの相談もお受けしています。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

県ひきこもり地域支援センターゆるここ

☎096-386-1177

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決と一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。また、介護に対する悩み相談も受け付けています。

相談日／8月15日（火）

①13時30分から ②14時30分から

③15時30分から

場所／役場1階相談室

（住所／益城町宮園702）

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇コミュニティソーシャルワーカー（CSW）

コミュニティソーシャルワーカーとは、どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢・障がい・子ども・生活困窮などの枠組みに捉われず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

福祉に関する相談や暮らしの中の困りごとはコミュニティソーシャルワーカーへご相談ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

◇シルバー人材センター

【料金改定について】

この度、物価高騰及び令和4年10月の最低賃金改定に伴い、料金を改定することとなりました。お客さまには大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、引き続きのご愛顧とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

・改定後の料金（時間単位）

草取・農作業 950円（改定前825円）

草刈・剪定 1100円（改定前995円）

事務手数料 15%（13%）

【会員募集】

現在、当センターでは、事前予約制による個別入会説明会を実施しています。入会希望者だけでなく、活動内容についてのお尋ねだけでも構いません。興味のある方は事前連絡をお願いいたします。

日時／随時（平日9時から16時まで）

場所／保健福祉センター内事務所

（住所／益城町惣領1470）

問／シルバー人材センター

☎096-289-6092

◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要（相談対応中の場合はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください）

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室0

住所（益城町宮園702）

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
8月9日(水)	松尾英美 (司法書士)	森田俊彦 (人権擁護委員)	高田義視 (民生児童委員)
8月16日(水)	松尾英美 (司法書士)	野口泰喜 (人権擁護委員)	飯村啓子 (民生児童委員)
8月23日(水)	松尾一 (行政書士)	遠山美智子 (消費生活相談員)	佐渡千代子 (民生児童委員)
8月30日(水)	松尾一 (行政書士)		中村一法 (民生児童委員)
9月6日(水)	松尾英美 (司法書士)		前田宣俊 (民生児童委員)

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ地域の人たちが楽しく集まる空間づくりが盛んに行われています。また介護予防の取り組みや閉じこもりの防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動などを行っています。

広崎3町内かたろう会



場所／広崎3町内公民館／日時／毎月第4月曜日 10時

安永4町内笑顔で集うサロン会



場所／安永4町内公民館／日時／毎月第4木曜日 10時

上陳辻ヶ峰サロン



場所／上陳公民館／日時／毎月25日 9時30分

田原寿会



場所／田原公民館／日時／毎月18日 9時30分

地域を支えるふくしの輪

車イスの無料貸し出し（社協事業）

当協議会では、企業等から寄贈していただいた車イスの無料貸し出しを行っています。

対象：町内に住所を有し、次の要件に該当する方

- 【1】通院または旅行等で車イスを一時的に必要とするとき
- 【2】車イスの給付を受けるまで、または購入するまでの間
- 【3】自己の車イスが修理等で一時的に使用ができないとき

内容によっては、介護サービスや障害支援サービス等のご案内をさせていただくこともあります。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します。



自走タイプと介助タイプをご用意しています

2023年

8月

No.305

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒 861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領 1 4 7 0
益城町保健福祉センター「はびねす」内
TEL /096-214-5566 FAX /096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

